



# 富岡市景観まちづくり講演会 ～街の歴史と景観を生かした街づくり～

富岡市 建設水道部 都市計画課

富岡市では、景観形成の推進と市民景観意識の向上を目的として、平成21年度から「富岡市景観まちづくり講演会」を開催しています。令和7年3月16日(日)に富岡製糸場 国宝「西置繭所」にて開催し、一般の方から行政関係者まで、約100名の皆様にご参加いただきました。今回は、「地域主体の景観まちづくり」をキーワードに、地域住民が地域活性化のために実践してきた事例に焦点を当てました。



講演会の様子

## ■ 講演会の講話内容

今回の講演会では、「街の歴史と景観を生かした街づくり」を演題に、株式会社テラスオフィス代表取締役社長の田村寛さんにご登壇いただきました。田村さんは、新潟市中央区の沼垂地区にある郷土料理店「大佐渡たむら」の店主である一方、ご自身が生まれ育った商店街の再生にも取り組まれ、令和5年度ふるさとづくり大賞優秀賞(総務大臣表彰)を受賞されています。シャッター通りと化した商店街を再生するため、「ここに来ないと出会えないヒト・モノ・空間」「古くて、新しい沼垂」をコンセプトとし「沼垂テラス商店街」を誕生させました。街の歴史・文化・景観等を地域資源として生かしたさまざまな取組を行いながら、起業の場や移住定住者の創出など、地域活性化に貢献されています。田村さんは、「地元の子どもたちが大人になったとき、自分の生まれ育った街が、自慢できる場所であってほしい」という想いのもとに、今あるモノや風景を生かした、地域住民を巻き込んだまちづくりのお話に、聴講者の共感と感心を集めていました。



田村寛さん

## ■ 景観賞表彰

講演会では、富岡市景観賞表彰式を併せて開催しました。令和6年度は、景観の向上に顕著な功績が認められた、「第26区(上黒川)」と「丹生のほたるを守る会」の2団体が表彰されました。いずれの団体も、住民が協力し合い、地域の景観保全に向けた自主的なまちづくり活動に取り組んでおり、富岡市景観づくり会議の審議においても、高く評価されました。



第26区(上黒川)の活動例



丹生のほたるを守る会の活動例

## ■ 景観行政としての想い

富岡市においても、世界遺産「富岡製糸場」を有する一方、市街地では高齢化や後継者不足により空き家・空き店舗の増加が課題となっています。今回の田村さんの講演を通じて、まちづくりには明確なコンセプトと、それを実行するためのスピード感が重要であることを改めて認識しました。世界遺産を有する強みを発信しつつ、それ以外の魅力ある地域資源を生かしたまちづくりの重要性を感じ、今後の富岡市にとって大変有益な講演となりました。

今後も富岡市では、景観まちづくり講演会などを通して、景観啓発事業を進めて参ります。

